芙蓉も、 皇の御代になった。十七歳に成 の美貌は、 紫式部や清少納言にも劣らぬ才 やがて崩御し、七十四代鳥羽天 深く寵愛し、婬酒に時間を費や 遠く及ばないものであった。 能を示した。それにもまして、 かつての小野小町や和泉式部 管弦など出来ないものはなく 長した藻は、博学多才、歌道、 概略を述べて参ります。 |絵本三国妖婦伝」によってその 藻の才能を愛でた堀河天皇も 鳥羽天皇は藻を寝殿に召され、といいのうなです。 本年も、 朝廷の政がおろそかになっ また夕暮れの海棠も、 、「殺生石」 春の月の夜桜も暁の の物語を、 、そ

(1120)の晩秋の き、 れ の出の遅い景色が急にうち時 官女たちは酌に立ち、 があちこちに聞こえた。 ち消された。 詩をつくり、 周囲は忽ち白昼のように照り輝 その時、 折り戸や屛風、 宴たけなわの時である。 藻の身が光を放った。 和歌を詠じた。 襖に描かれ

詩歌管弦に堪能な月卿雲客も即、殿上人らが大勢居並んだ。卿、殿上人らが大勢居並んだ。の大臣忠通公をはじめとした公内大臣忠通公をはじめとした公内大臣忠通公をはじめとした公 って、「松明、松明」と呼ぶ声っ暗になり、驚き騒ぐ声に混じっ暗になり、驚き騒が声に混じ されていたのは言うまでもない。 多く召された。電愛深い藻が召 大臣俊房公、 建て連ねた灯明が残らず打 陣の風が吹いたかと思う 高揚殿の宴席は真 右 大臣雅実公う 人々は漢 月 そ

前那須歴史探訪館 筆者 宏壽先生(湯本在住)

今月のひとこと

八溝峰に昇る初目は神々しく 那須野ヶ原の朝染めゆく

館長



色や白、 町内では「とんぼ団子」と呼ばれ 情を見せながら、 ちははしゃいだ笑顔や真剣な表 餅をミズノキに刺したもので、 がこのほど、 づくりは恒例の行事で、園児た ている。保育園でもとんぼ団子 んでいる▼町のこども未来課 小正月に飾られる餅花は、 黄色に色付けした 保育園児向けの体 伝統行事に親

門院璋子の、顕仁親王(後の七のようなまた。鳥羽天皇は、待賢ことである。鳥羽天皇は、待賢

ていた絵もありありと見える。

元永三年

百官は皆眉をひそめた。

子はもとより、

関白忠実公や左

高揚殿にて内宴を催された。

天皇のみは、

藻のその神々しさ

ひたすら感嘆する。

皇子顕仁親王や皇后璋にて内宴を催された。宴

十五代崇徳天皇)

出産を祝い、

奇異の思いを抱いた。

が、

が、鳥間が、魚間が、

人々は皆、

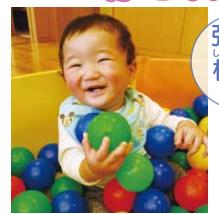
藻を訝しみ、

おうと、 町内7つの保育園で活用してい だ!!』を制作した。 りやすい体操はとてもユニーク 虫や動物の動きを真似した分か 期から体操に慣れ親しんでもら 運動苦手を解消するため、 く▼発案は同課の指導主事で、 せた町オリジナルのもの。 が創作した体操に、 プログラムの制作を考 町に生息する昆

幼児

協力隊の隊員が曲をつけ完成さ 操プログラム『なすの森で冒険 地域おこし 保育士たち

と呼ぶと言われている。 ことから、 きだったり、 動きだったり、 屝 域 ている。「とんぼ」の動きが飛ぶ の工夫や那須らしさが込められ 新しいもの、そして町ならでは 育園の活動には伝統的なものや たくさん詰まっている▼那須地 発想が育っていくことを願う。 のこと。玄関先の戸口に飾る の言葉で「とんぼ」は引き戸や 園児たちが親しめる工夫が 餅花を「とんぼ団子」 園児たちの自由 開け閉めする動 町の保



弦巻に柊志 平成29年 (上町)

10月2日生

父 憲行さん 📵 景子さん

## 柊志くんは…

白いごはんが大好き! じぃじ、ばぁばいつも ありがとう。

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。 詳しくは総務課広報広聴係(☎72-6901)まで。

## 町の世帯と人口

(12月1日現在・住民基本台帳) ( )の数字は前月比

- ・世帯数 10,284世帯 (+1)
- 25,311人(-17) 男12,559人(-8) 女12,752人(-9)

## あなたの「声」を聞かせてください

地域の身近な情報や、広報「那須」の感想・ご意見をお待ちしています。 お名前と連絡先とともに下記までお寄せください。